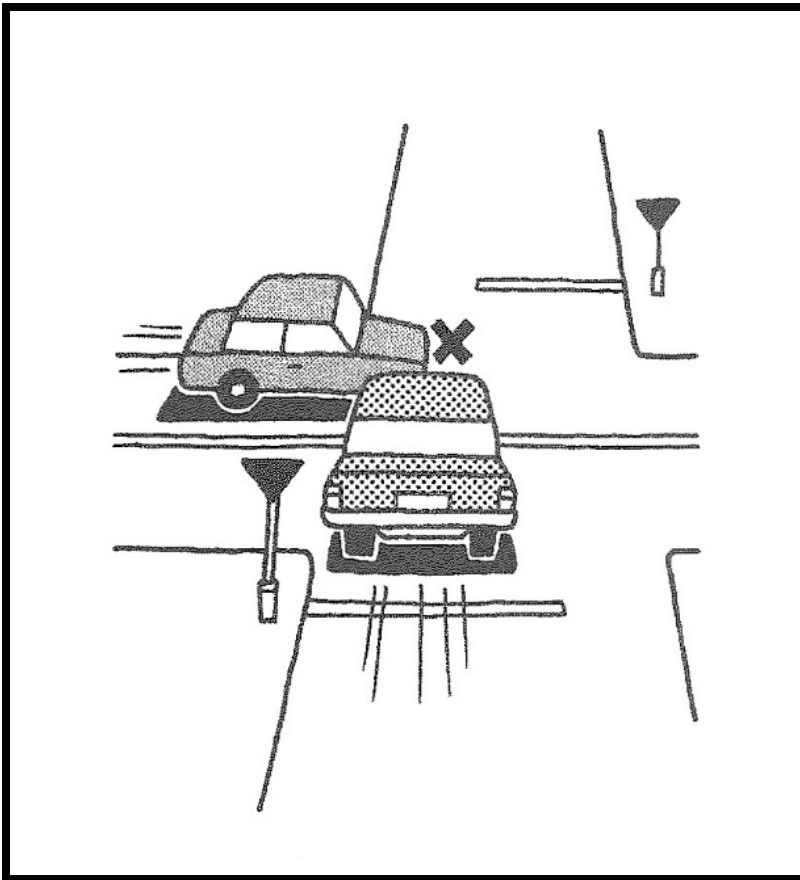


## ■事故の概況



事故類型：出会い頭

当事者A：普通乗用車 30歳代  
女性

当事者B：普通乗用車 20歳代  
女性

## ■ 事故の概要

見通しの良い田園地帯の1車線道路を直進していたAは前方に一時停止規制のある交差点と交差点左方から走行してくるB車を発見し、軽くブレーキを踏み減速しましたが、自車が先に交差点を通過できると判断し、加速して交差点に進入しました。

一方Bは往復2車線の直線道路を時速60kmで走行中、交差点右方から走行してくるA車を発見し、アクセルから足をはずして左寄りに進路をとりながら進んだところ、交差点手前で一時停止せずに走行してくるA車に危険を感じたものの、何の回避措置も取られず衝突してしまいました。

## ■ 事故から学ぶ

この事例はAの指定場所一時不停止が大きな原因ですが、両者ともに「危ないかもしれない」と思いながら十分な予防措置をとらなかったことが事故につながったといえます。

Aは自車の道路側に一時停止規制があることを知っていたのですから、交差点手前で停止するべきでしたし、B車を発見した時点で「停止して通過を待とう」と判断するべきでした。

BもA車を発見した時点で相手が停止しないことも予測してブレーキを踏み、十分に減速していれば衝突は避けられたでしょう。

交通規制を順守することはもちろん、少しでも危険を予測したら他車の動向に十分注意し、時には相手に道を譲るほどの余裕を持った運転を心がけましょう。